

報道関係者 各位

2023年7月19日
野原グループ株式会社

BIMを活用したデータ連携による自動化で、建設業の生産性向上、CO2削減へ
【2023年8月30日～9月1日】第3回 建設DX展（大阪）に出展
～BIM設計-製造-施工支援プラットフォーム BuildApp で、内装・建具の各プロセスの効率化を支援～

BuildApp

建設プロセスに、革新と未来を。

建設DXに取り組む野原グループ株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔)は、2023年8月30日から同年9月1日まで、インテックス大阪（大阪市住之江区南港北1-5-102）で開催予定の「第3回建設DX展（大阪）」に、建設業界の生産性向上と環境負荷軽減（廃材・CO2の削減）を支援するBIM設計-製造-施工支援プラットフォーム BuildApp（ビルドアップ）を出展します。見どころは、国土交通省 令和4年度BIMモデル事業採択案件の実証結果（「見積・作図承認・スチールドア生産」の各工数を最大50%削減）です。（弊社ブース：インテックス大阪 2号館、小間番号12-1）

建設業界は、政府による産業内のデジタル活用強化や2050年までのカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）¹宣言に加え、2024年4月に迫った建設業における時間外労働の上限規制の適用への準備も急務となっています。

私たち野原グループは、建設業に関わる関係者の皆さまとともに、建設プロセス及びサプライチェーン変革により、これらの課題を解決し、生産性向上と環境負荷軽減（廃材・CO2の削減）、働く場所としても魅力のある業界にアップデートするため、建設プロセスと関係者をデータでつなぐハブ機能を進化させた「BuildApp」を強く推進しています。

「第3回建設DX展（大阪）」では、「BuildApp」が対応する、設計積算、製造、流通、施工管理、維持管理の各工程のサービスのうち、今回は設計積算と製造の工程にフォーカスし、内装 BIM 積算・プレカット「BuildApp 内装」と建具 BIM-工場生産連動「BuildApp 建具」のサービス実演を予定しています。ご来場された皆さまには、これまでの事例・実績の紹介を交えながら、BIMを活用したデータ連携による自動化で、内装・建具の各工事プロセスがどのように変わるか（生産性向上）、環境負荷（廃材・CO2の削減）がどれだけ軽減されるかをご覧ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

■建設DX展（大阪）について

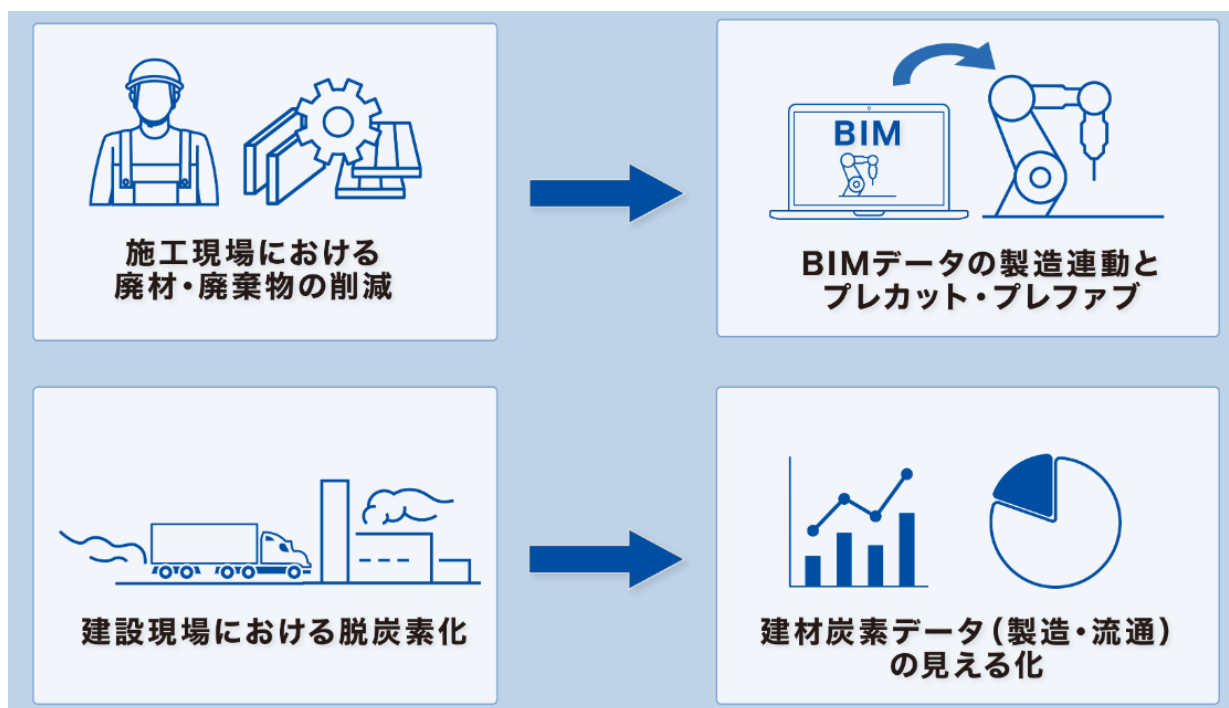
イベント名	建設DX展（大阪）※RX Japan 株式会社主催ジャパンビルドー建築の先端技術展ー内
開催期間	2023年8月30日（水）～9月1日（金） 各日10:00～18:00（最終日は17:00終了）
会場名	インテックス大阪（〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102） ※インテックス大阪へのアクセスは、大阪（梅田）からの直通バスが便利です。 https://www.japan-build.jp/osaka/ja-jp/visit/access.html
弊社ブース	インテックス大阪 2号館、小間番号12-1
入場料	5,000円（税込）※事前登録の場合は無料
WEB	https://www.japan-build.jp/osaka/ja-jp/visit/kdx.html

BuildApp の出展概要と見どころ

BIM 設計-製造-施工支援プラットフォーム BuildApp (ビルドアップ) は、2,500 万㎡超（東京ドーム約 535 個分）の内装積算ⁱⁱ実績と建具の豊富な施工実績、BIMⁱⁱⁱやデジタル技術を集約させています。

「BuildApp (ビルドアップ)」は、設計事務所やゼネコンが作成した BIM 設計データをより詳細なデータにし、各建設工程に必要なデータとして利活用し建設工程全体の生産性向上を実現するクラウドサービスです。設計積算から製造・流通・施工管理・維持管理までを BIM でつなぐ複数のサービスにより、各プレイヤーに合わせたサービスを提供しています。設計・施工の手間・手戻りをなくし、製造・流通を最適化して、コスト削減と廃棄物・CO2 削減に貢献します。

BIM 設計-製造-施工支援プラットフォーム BuildApp が目指すこと	
課題	解決イメージ
生産性向上 (業務時間短縮、 人員稼働削減)	BIM データをすべてのプロセスに連携することで、以下を短縮 <ul style="list-style-type: none"> ● 見積り期間や施工時間、生産リードタイム ● 施工図作成など各種資料作成工程
廃材 (産業廃棄物) と CO2 削減	<ul style="list-style-type: none"> ● BIM・建材データの連携による設計段階での適切な材料試算、材料試算に連動した発注、設計段階での環境に優しい資材の提案・活用 ● 生産工程への情報連携による材料の切出し
各工程を通じた BIM の横断活用	<ul style="list-style-type: none"> ● BIM を「BuildApp」上で各関係者が扱える情報に弊社が「翻訳」することで関係者間の「連携」を生み、BIM を活用しやすくなる



1. 建設 DX 展(大阪) BuildApp ブースの見どころ

私たちが得意とする「内装・建具工事」のサービス群と事例を紹介します。特に、建具工事は国土交通省 令和 4 年度 BIM モデル事業の採択案件の結果（「見積・作図承認・スチールドア生産」の各工数を最大 50%削減）を詳説します。

1. BuildApp 内装 (ゼネコン~工事店~メーカーを結ぶプロセスの変革) <ul style="list-style-type: none"> ・ BIM-プレカット施工のサービス実演 ・ 事例
2. BuildApp 建具 (ゼネコン~メーカー~工場を結ぶプロセスの変革) <ul style="list-style-type: none"> ・ 「建具施工図自動化」「建具 BIM 生産連動」のサービス実演 ・ 国土交通省 令和 4 年度 BIM モデル事業の紹介（「見積・作図承認・スチールドア生産」の各工数を最大 50%削減）

2. BuildApp 出展内容の問合せ先

BuildApp WEB	https://build-app.jp/		
お問い合わせ先	フォーム入力	https://build-app.jp/contact/	
	メール	info@build-app.jp	電話 03-6367-1634

以上

野原グループ株式会社について

野原グループ株式会社を中心とする野原グループ各社は、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、変わる建設業界のフロントランナーとしてステークホルダーの皆さまとともに、サプライチェーンの変革と統合を推し進めます。



建設DXで、社会を変えていく

社会を支える建設産業の一員である私どもが、業界から排出される廃材量やCO2の削減、生産性向上による働き方改革を実現し、サステナブルに成長していく未来の実現を目指します。

<https://nohara-inc.co.jp>

【本件に関する報道関係者からの問合せ先】

野原グループ株式会社

ブランドコミュニケーション課（担当：森田・齋藤）/ E-Mail：nhrpreso@nohara-inc.co.jp

ⁱ 政府は、2020年10月に2050年カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。同年12月には、経済産業省が中心となり、関係省庁と連携して「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」も策定しています。国土交通省からは、地球温暖化緩和策が発表されています。（<https://www.mlit.go.jp/common/001386820.pdf>）

ⁱⁱ 非住宅分野における内装工事の詳細は、建設産業担い手確保・育成コンソーシアムより発表されている「【内装仕上げ工事ガイドブック第13版】」を参照願います。https://www.kensetsu-kikin.or.jp/database/pdf/%E5%BB%BA%E8%A8%AD%E7%8F%BE%E5%A0%B4%E3%81%A7%E5%83%8D%E3%81%8F%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE%E5%9F%BA%E7%A4%8E%E7%9F%A5%E8%AD%98%EF%BC%88%E5%86%85%E8%A3%85%E4%BB%95%E4%B8%8A%E5%B7%A5%E4%BA%8B%E7%B7%A8%EF%BC%88%E9%9D%9E%E4%BD%8F%E5%AE%85%E7%B7%A8%EF%BC%89%EF%BC%89_201912.pdf

また、積算とは図面などの設計図書をもとに建設プロジェクトで使用する材料とその数量を拾い出し（計算して）、建物を建てるのに必要な金額を算出していく作業を言います。

ⁱⁱⁱ BIM（ビム/Building Information Modelingの略称）とは、建築物のデジタルモデルに、部材やコストなど多様な属性データを追加した建築物のデータベースを持たせ、設計・施工・維持管理の各プロセスを横断して活用するためのソリューションです。野原グループでは、2017年よりBIM事業に注力しています。